

燧灘貧酸素情報（第 7 号）

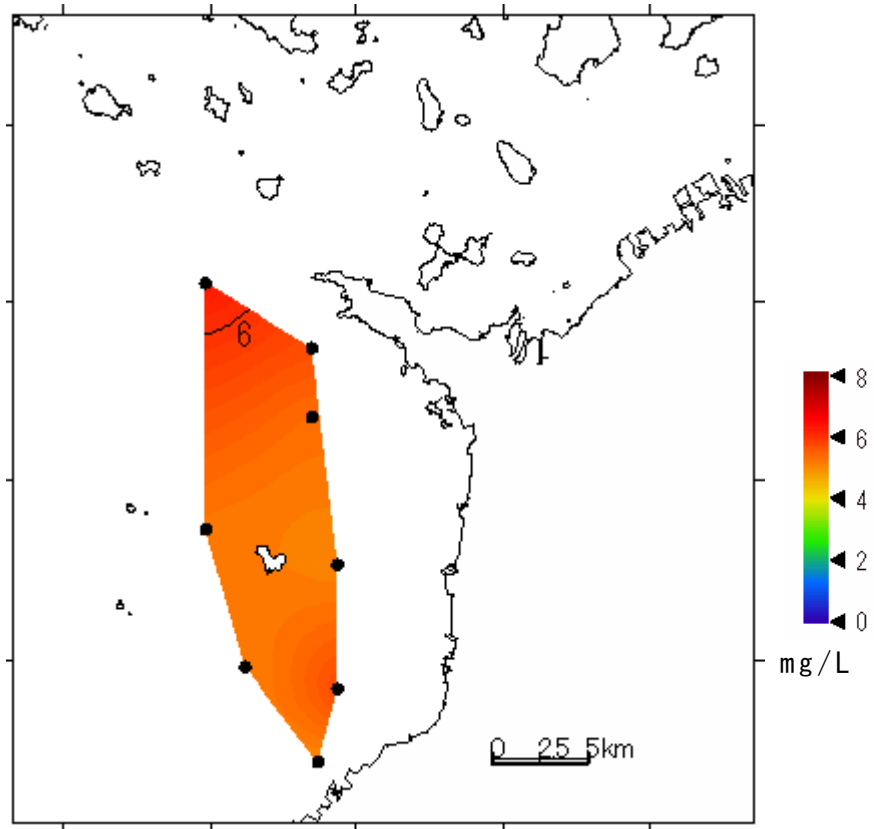
香川県水産試験場

10月1日観測結果

10月1日現在、底層の溶存酸素濃度は広範囲に回復しています。水温の低下に伴う水塊の鉛直混合により貧酸素水塊が発生しにくい海況となっており、今後も低酸素化の可能性は低いと考えられます。

そこで、今年度の貧酸素情報はこれを最終とします。

調査名：浅海定線調査
測定方法：ウインクラール
アジ化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。